

施策案番号	No.6 4
施策案件名	豊山町第5次総合計画後期基本計画
募集期間	令和6年9月13日(金)から令和6年9月27日(金)まで
公表方法	案を役場3階企画課窓口及び役場1階情報コーナーに設置するとともに、町ホームページに掲載
募集方法	窓口提出、郵送、電子メール又はファクス
主管課・係名	企画調整部企画課企画・広報グループ 問合せ先 電 話 0568-28-0913 ファクス 0568-29-1177 郵便番号 480-0292 (個別郵便番号:住所不要) 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字新栄260番地
募集結果	1名 6件

意見及び考え方

番号	該当箇所	町民意見及び件数	町の考え方
1	P46 社会教育施設の整備・充実について P53 芸術・文化について P62 観光資源の魅力について	<p>【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P46 社会教育施設の整備・充実】について 【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P53 芸術・文化】について 【観光資源の魅力化】について</p> <p>青山 神明・金剛地区において計画が進められている防災拠点に次ページ以降に示すステンレス彫刻美術館を設置することを提案いたします。</p> <div style="text-align: center;"> <p>背 景</p>  </div> <p>はじめに 令和2年9月、愛知県は大規模災害が発生した際に県民の被害を最小限に食い止める事を目的とした「基幹的広域防災拠点」(以下防災拠点という)を豊山町青山地区に整備することを決めました。 防災拠点は上青山地区総面積約40haの半分に相当する約22.1ha(臨空第I第II公園を含む)の住宅・農地・生活道路(農道)に整備されます 水田・畑等の農地及び生活道路は単に食料を生産し、人や物が移動する通路であるだけでなく、その多様なはたらきにより青山地域住民(以後住民という)の幸福を作り出してきました。</p>	<p>本町では、「小さくてキラリと輝くまちづくり」を基本理念として、町の将来像「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」の実現を目指し、実効性のある計画的なまちづくりに取り組んでいきました。</p> <p>事業の実施にあたっては、いただいた意見を参考に、子どもたちが学べる場を創出できるよう邁進してまいります。</p>

目 的



いまを生きる私たちは、
愛知県民の安全安心のために作られる
防災拠点ができることにより失われる農地が変わる、
新たな学びの場を創る責務があります。
中島大道先生の作品にはその力があります。

【ステンレス彫刻美術館の誘致の目的】

生命・環境・技術を遊びの中から学べる空間を作り
若者たちが誇れる地域を築く。

金属加工技術・技術者・技能者に対する
社会的理解の醸成を促し、金属加工技術の発展に寄与する。

私は『防災拠点に絶対必要な施設』との思いからR6年5月に、
「ステンレス彫刻家 中島大道様」（以下大道様という）の工房を訪ねて参りました。
大道様はH元年に名古屋で開催された「世界デザイン博」において多数の作品を出展し
デザイン博を盛り上げた著名な作家です。

世界デザイン博 白鳥会場 展示風景



大道様の工房は国道から離れた不便な場所に所在し、事前連絡が無いと訪問できないにもかかわらず世界中から毎日のようにお客様が訪れる、かくれた名所になっております。大道様との面会は1時間の予定でしたが、話が弾み3時間以上になりました。私が防災拠点の話をする、

『実現するようなことあったら、世界1の屋外昆虫彫刻美術館を造ってやる』との言葉をいただきました。

大道様の作品は空を飛ぶ白鳥・昆虫が多く、展示場所を工夫すれば、名古屋空港を飛び立つ飛行機と

彫刻の昆虫と一緒に飛んでいるすがたを撮ることも可能となります。

(インスタ映えスポットになるかも?)

豊山町の資源である

『**県営名古屋空港との相乗効果も期待できる素晴らしい企画になる**』と考えます。



大道様の作品の特徴の1つは登って子供が遊べる自由度の高さです。



子供の笑顔が量産されます。



リアリティのある造形と
ギリシャ彫刻をほうふつする
なめらかな曲線は存在感抜群です。



<p>2</p>	<p>P54 文化財・郷土資料の保存・活用について</p>	<p>【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P54 文化財・郷土資料の保存・活用】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青山 神明・金剛地区において防災拠点整備事業が進められていることに合わせて、青山神明遺跡の発掘調査が進められております。 <div data-bbox="1228 270 1577 344" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">2024/9/5 発掘調査風景</div>   <ul style="list-style-type: none"> ● 発掘調査においては、約 2500 年前の遺物と思われる遠賀川式土器が発見される等、貴重な遺物・遺構が多数見つかっております。  <ul style="list-style-type: none"> ● 遠賀川式土器が出土したことにより、豊山町では約 2500 年前に米作りが始まった可能性が有ることがわかったと言われております。 ● 基本計画案.P54 文化財・郷土資料の保存・活用項においても「文化財や郷土資料 の収集・保存・活用を図ります。」とあります。 ● R4 年度にリニューアルした郷土資料室では手狭と考えます。 ● 社教センターの郷土資料室を廃止し（他の施設に転用）発掘調査場所で、遺構の一部を残す等の処置をした上で、郷土史資料館を創設することを望みます。 ● 愛知県には県立の総合博物館がないと言われております。 ● 県立の総合博物館を誘致するのも一考と考えます。 ● 豊山町の将来を担う子供達が自慢できる郷土を創ることは、いまを生きる大人達の責務であると考えます・ 	<p>文化財や郷土資料の保存・活用については、いただいた意見を参考に事業を実施してまいります。</p>
<p>3</p>	<p>P53 芸術・文化について</p> <p>P55 スポーツ施設・環境整備の推進について</p>	<p>【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P55 スポーツ施設・環境整備の推進】について</p> <p>【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P53 芸術・文化】について</p> <p>現在、【観光資源の魅力化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 愛知県の防災拠点整備事業が進められている。 豊山町は、県の事業と同調する形で、同地域において、災害発生時には避難所として使用する事を目的としたアリーナを建設することを決めました。 ● 豊山町にはすでに、すでに社教センターの体育館があります。 人口 16,000 人程度のまちに 2 つ体育館は必要ないと考えます。 ● 社教センターの稼働実績について、平日は 5～6 割 休日は、9 割に迫る月が多いが、現状の施設で豊山町の需要は満たしている。 ● 新たな体育館（アリーナ）を作るのであれば、 いままでの体育館（アリーナ）は廃止するか他に施設に転用する必要があると考える。 ● 今年の 1 月 20 日に開催された『豊山スカイプール』をテーマとした住民懇談会において、 豊山町の公共施設の維持管理費がかさむとの理由で『豊山スカイプール』を廃止するとの話を聞きました。 ● 人口 16,000 人程度のまちに 2 つ体育館があれば、 豊山町の財政が厳しくなることは目に見えております。。 ● 両アリーナの棲み分けを考えた上での計画が必要と考えます。 	<p>豊山町の文化・スポーツ施設のあり方については、いただいた意見を参考に事業を実施してまいります。</p>

- 過剰投資により無用の長物となり得る施設（アリーナ）で苦しむのは、豊山町住民である私たちです。
- 総合計画においては、
 [現状・課題]
 多様化する町民のスポーツに対するニーズに応じた施設の整備が 必要です。
 また、町民が安心してスポーツを楽しめるよう老朽化した 施設の改修が必要です。
 [施策の展開方向]
 ①社会教育センターを始めとしたスポーツ施設の整備・改修を行い、安全・安心に生涯スポーツを楽しむ環境を整備します。
 ②新たな社会の変化に伴う多様なニーズに対応する生涯スポーツ施設の整備について調査研究します。
 とありますが、新たな体育館についての言及はありません。
- 臨空第2公園基本計画検討会議
 「第2回検討会議資料5-5&5-6・臨空第2公園基本計画案3頁」より検討

	地域防災計画R5/2 による 想定避難者数 A (1300人)	現状の指定避難所 収容人数 B	B-A
豊場	1300 x 2/3= 867人	4330人	4330-867=3463人
青山	1300 x 1/3= 433人	300人	300-433=-133人

- ※第2回検討会議資料5-6 においては車中泊避難者の算出根拠として1300人を想定している。
- 上記検討より、
 豊場地区においては、地域防災計画R5/2による想定避難者数A(1300人)に対し十分な避難所が確保されている。
 社教センターの体育館（アリーナ）が他の施設に転用されることにより、避難者収容人数が減少することがあっても需要は満たしていると考えます。
 - 豊山町には、図書館・美術館・博物館・音楽ホール・武道館等、不足している施設は少なくありません。
 - 青山金剛地区にアリーナが創られることを契機として、
 豊山町の文化&スポーツ施設のあり方を再検討する必要があると考えます。

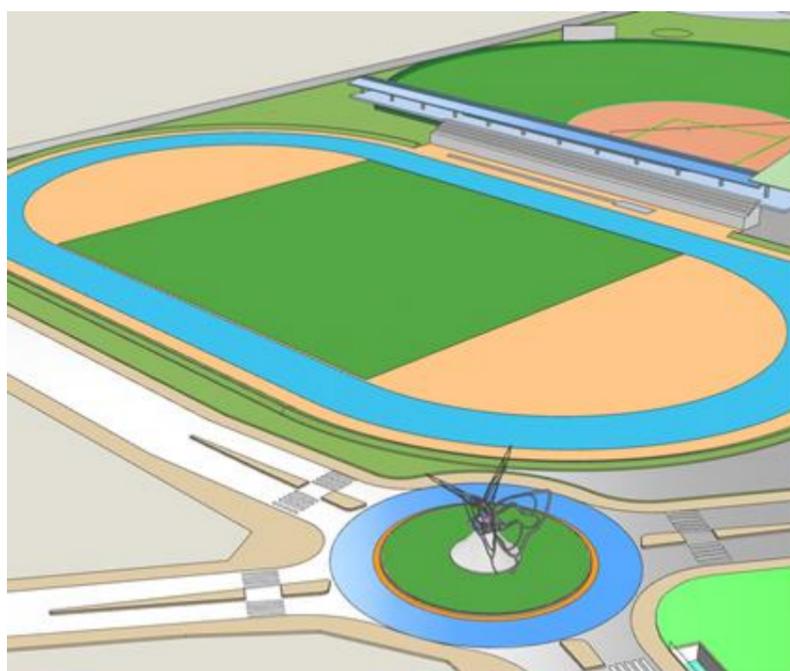
P55
 スポーツ施設・環境整備の推進について
 P74
 広域行政について

- 【スポーツ施設・環境整備の推進】
 【広域行政】
 防災拠点を西春日井地域の総合スポーツセンターに
- 私は、第2回臨空第2公園整備検討会議(以後 検討会議という)において避難所をアリーナ(体育館)として整備することに疑問を提示しました。
 - 豊山町には、すでに社教センターの体育館があります。
 16,000人程度のまちに2つ体育館は必要ないと考えます。
 - 第3回検討会議においては、社教センターの稼働実績について、平日は5~6割
 休日は、9割に迫る月が多いとの報告がありましたが、
 現状の施設で豊山町の需要は満たしているとの認識で一致しておりましたが、
 「割り切って考える」との発言もあり、避難所を
 アリーナ(体育館)として整備することについては変更されませんでした。
 - 私は以前より、16,000人程度のまちに2つ体育館が成り立つ方法を模索しました。
 - その結論として、第1回検討会において「愛知県が整備する防災公園を含む防災拠点を西春日井地域の総合スポーツセンターとして整備する。」ことを提案いたしました。
 - 愛知県の計画は入札の不落をうけ、計画の再検討が行われております。
 - 愛知県・豊山町・地域住民による合同検討会を立ち上げ整備計画を再検討することを提案いたします。次ページ以降に提案内容を提示いたします。
 - 総合計画においても「愛知県が整備する防災公園を含む防災拠点を西春日井地域の総合スポーツセンターとして整備する。」ことを盛り込んで頂ければ幸いです。

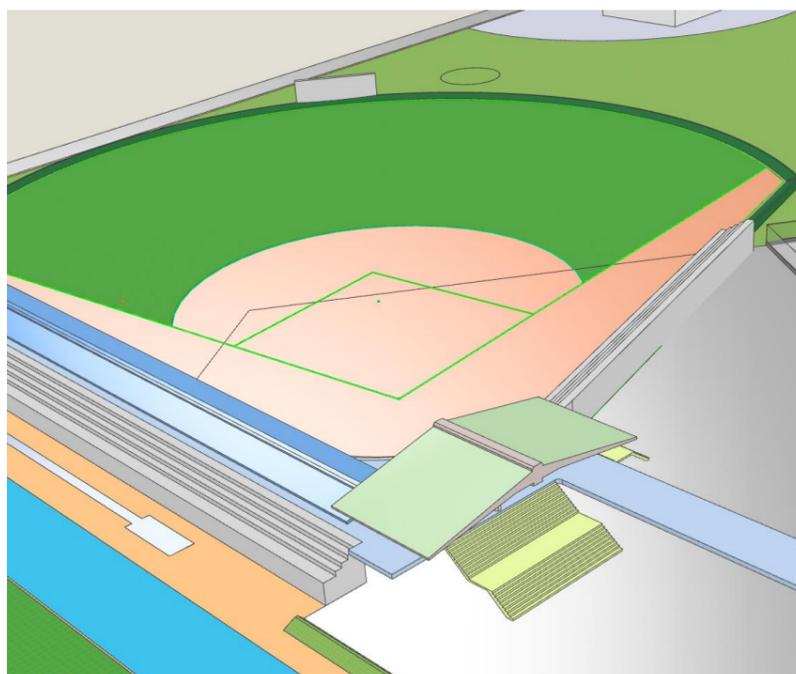
豊山町の文化・スポーツ施設のあり方については、いただいた意見を参考に事業を実施してまいります。



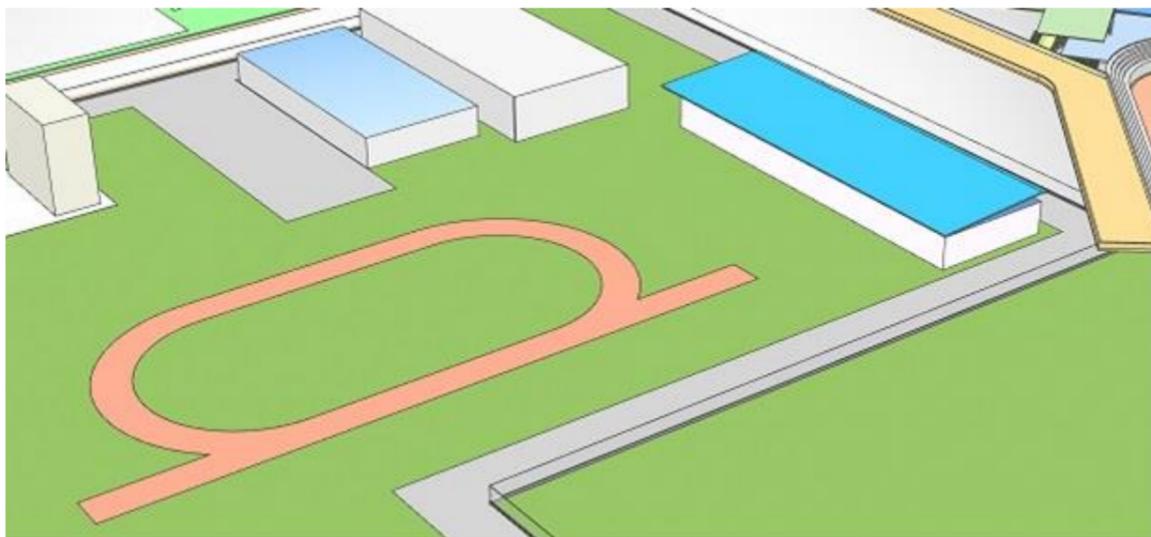
① 当初計画でサッカー場として整備することになっていた多目的広場を400mトラックを有する公認陸上競技として整備します。



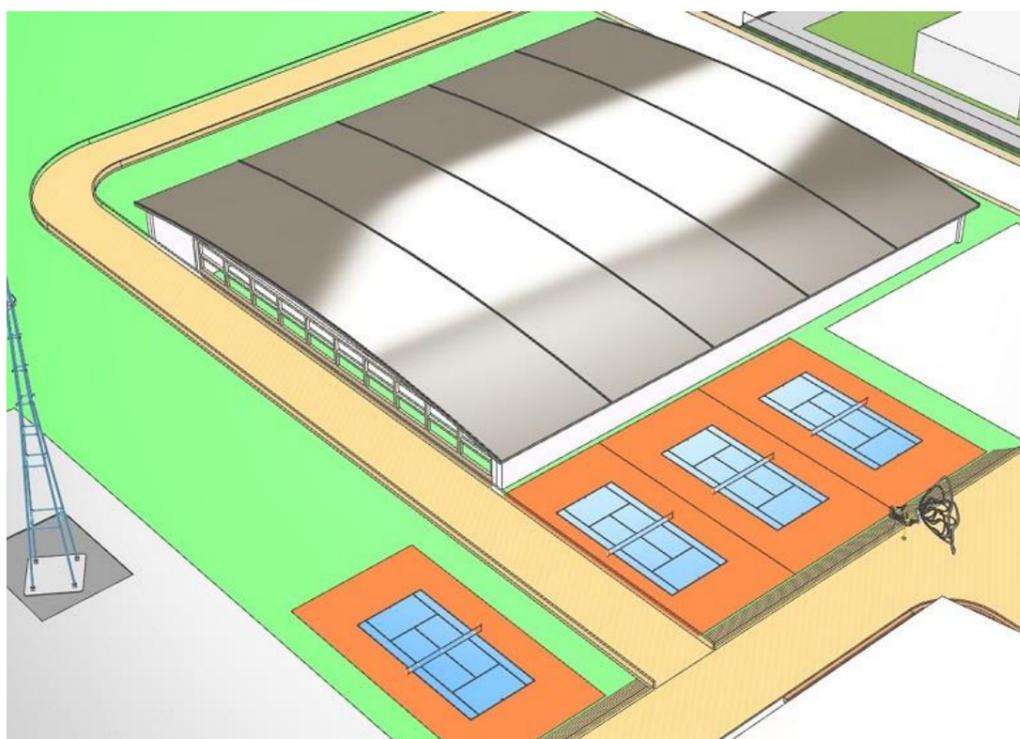
② 多目的広場野球場を本格的な野球場として整備します。



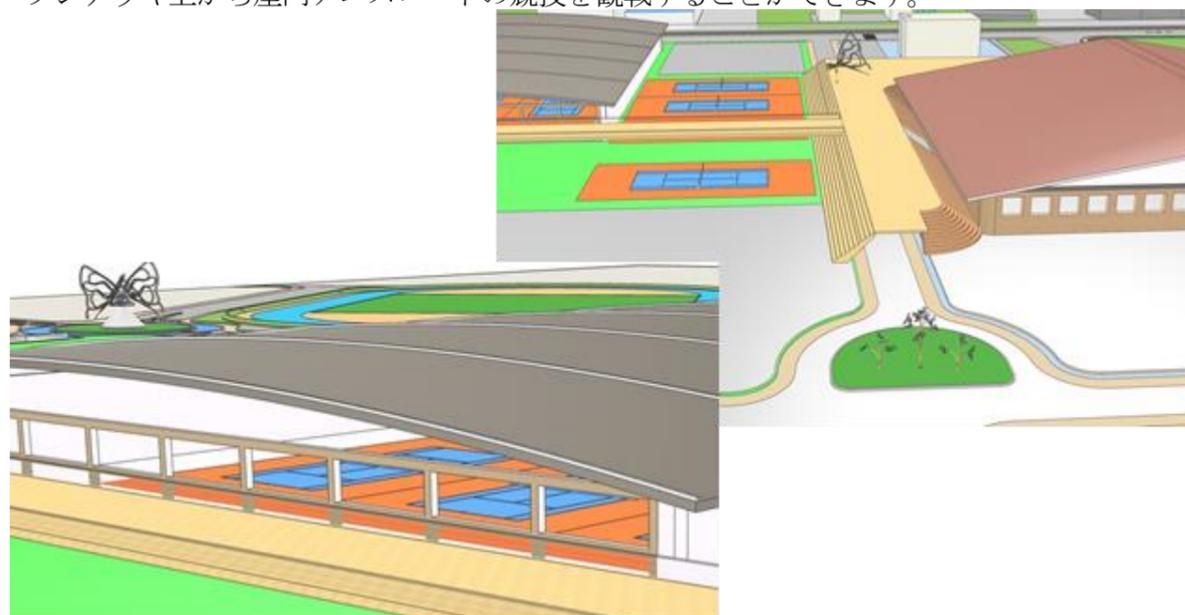
③ 消防学校のプールをグランド側に移動して大会・記録会のときだけ一般解放する。
消防学校のプールは水深が深いため一般の人は使えないとの説明をいただいておりますが、
競泳大会用として競技選手のみ使用とすれば使用可能と考えます。
消防学校の陸上競技トラックはサブトラックとして学校休日に開放します。



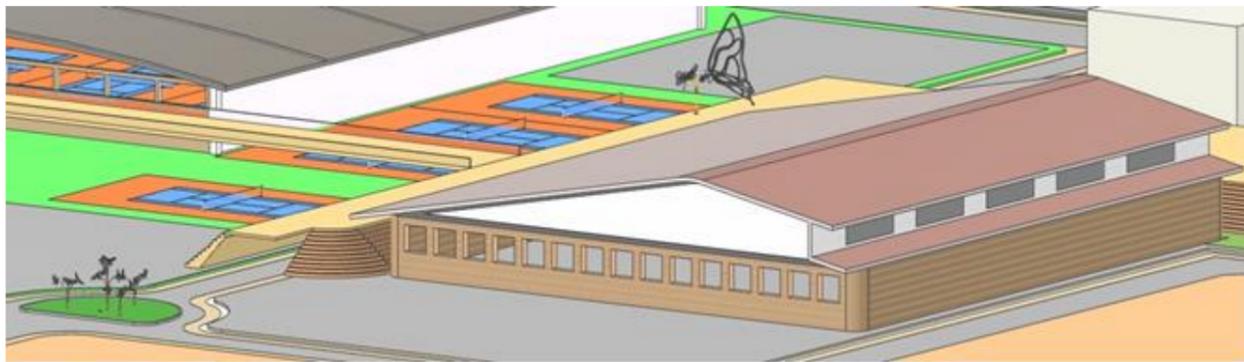
④ 屋内競技場周辺にテニスコートを整備します



オープンデッキの大階段はイベント開催時の観客席となります。
オープンデッキ上から屋内テニスコートの競技を観戦することができます。



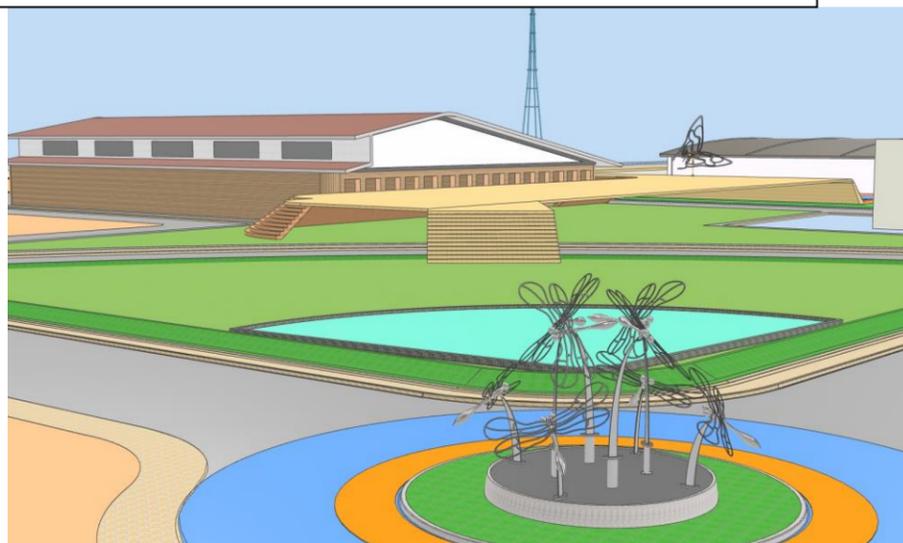
- ⑤ 臨空第2公園のアリーナは体育館として使用いたします。
愛知県との共同事業とすることで豊山町の費用負担を減らすことが期待できます。



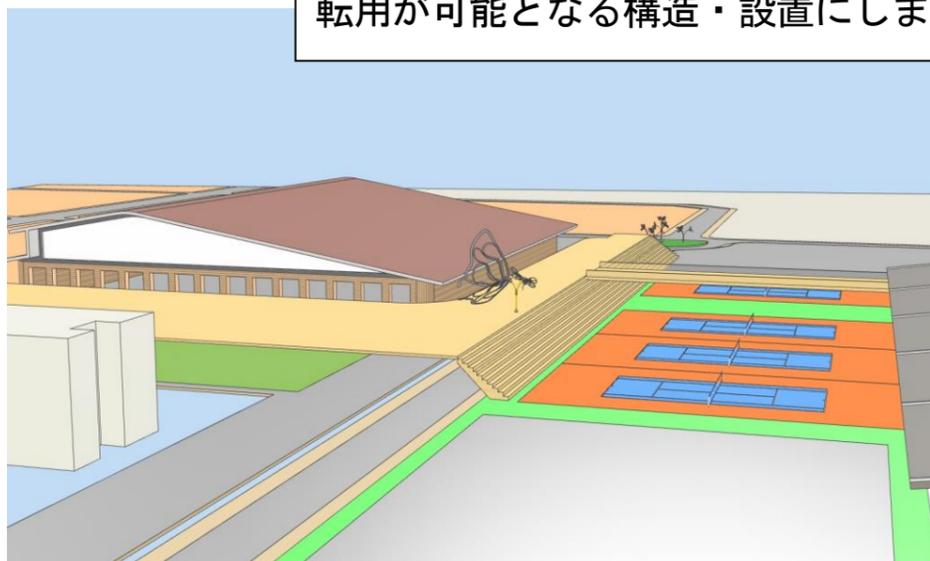
陸上競技場・テニスコート等を整備した春日井市の朝宮公園では競技施設利用者のみで、年間15万人の利用者が確認されております。
既存の神明公園は県内有数の人気公園であることを考えれば、競技施設利用者以外の来場者を含め年間30万人以上の来場者を期待できると考えます。

**『愛知県防災拠点事業』の不落をチャンスと捉え
愛知県・豊山町の合同チームによる
施設計画の練り直しを！！**

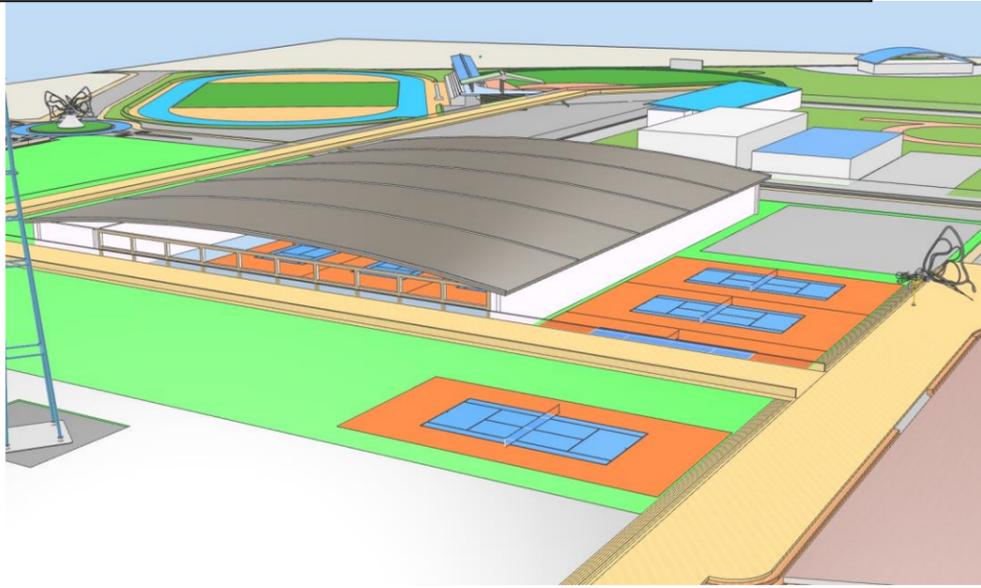
臨空第2公園から神明公園に至るオープンデッキを設置し各施設間をスムーズに移動できるようにします。



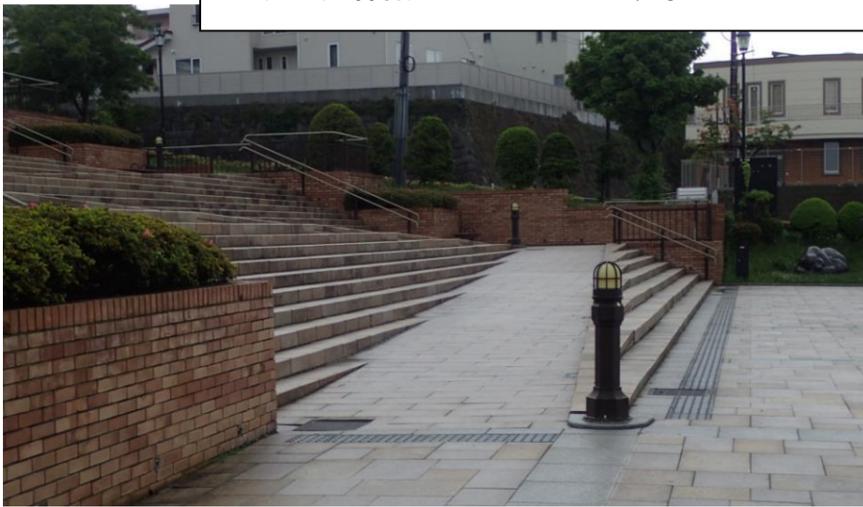
オープンデッキの大階段はイベント開催時の観客席への転用が可能となる構造・設置にします。



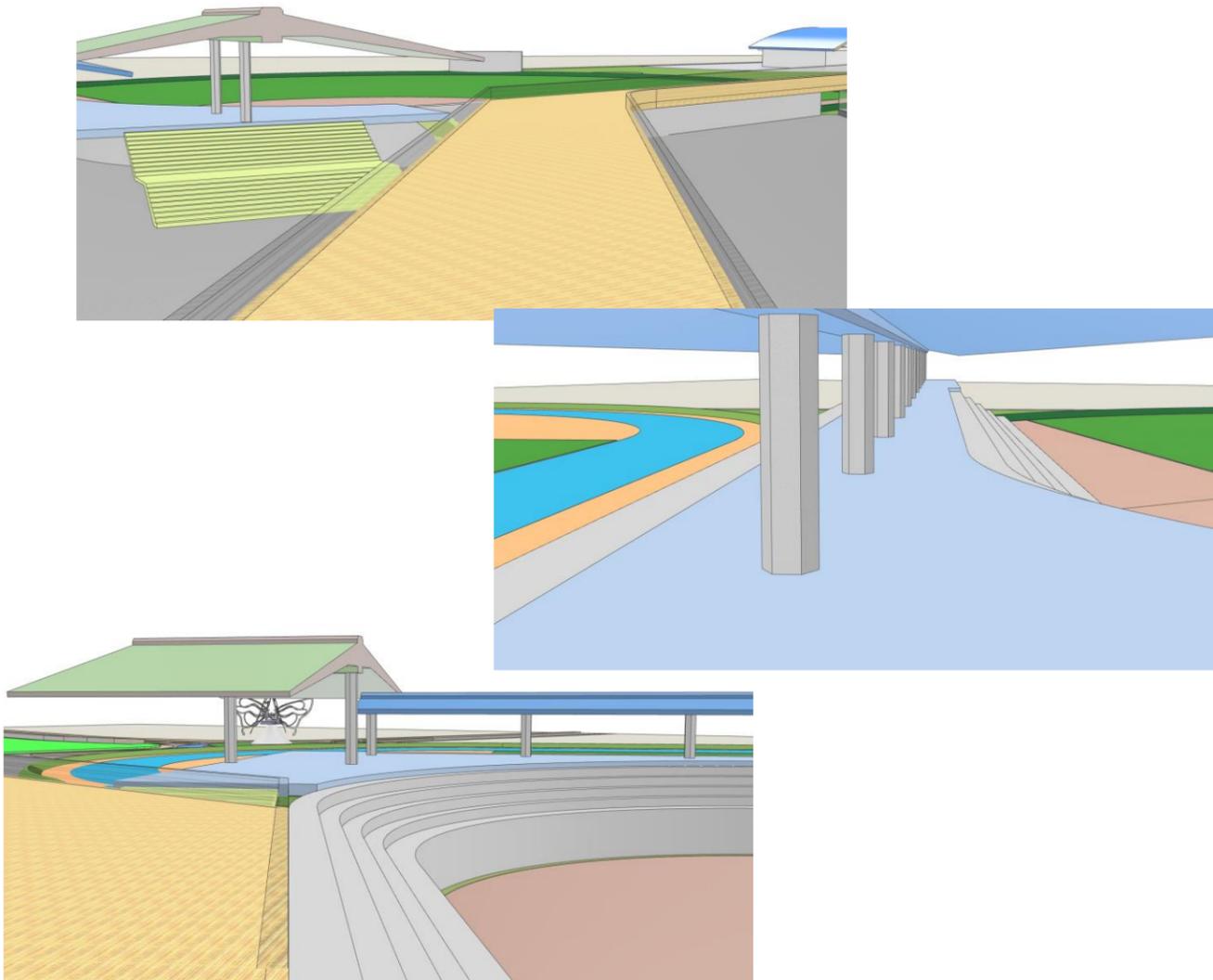
オープンデッキの上から各運動施設の競技観戦できます。



オープンデッキの大階段は写真のようなスロープ併設として、バリアフリー階段といたします。



オープンデッキの上から各運動施設の競技観戦できます。



P62
観光資源の魅力について
P74
広域行政について

【広域行政】

【観光資源の魅力化】

私は臨空第2公園整備検討会議において（基本コンセプト③まちの魅力を発信するにからめ「新たな地域の魅力を創出する。」事を目的とした下記の意見を提案いたしましたが「臨空第2公園整備検討会議は臨空第2公園の中について議論する」との理由から議論すらされませんでした。
「どこかで実現の道を探りたい。」と考え提案させていただきます。

- 小牧山ふもとを流れる合瀬川には自転車が走れる遊歩道が整備されております。
- 合瀬川は北名古屋市を通過、北部市場付近で大山川に合流しております。
- 遊歩道は一部未整備の区間もありますが、春は桜並木を楽しめる非常によい遊歩道と考えます
- 大山川堤防道路遊歩道を北部市場まで延長し合瀬川遊歩道と連絡することにより小牧山⇄北名古屋市北部市場⇄神明公園⇄小牧山に至サイクリングロードが完成します。
- 大山川堤防道路に協議会が要望している芝桜を整備すれば、合瀬川の桜並木大山川の芝桜ロードを楽しめるサイクリングロードが完成いたします。
- 後期基本計画に向けた課題において「愛知県基幹的広域防災拠点や臨空第2公園を新たな観光資源として、魅力化などを検討していく必要があります。」とあります。「魅力化案」の1つとして検討頂ければ幸いです。

岐阜県郡上市 園田家の芝桜



大山川堤防道路



豊山町の新たな魅力の創出については、いただいた意見を参考に事業を実施してまいります。

P54
観光資源の魅力について

【豊山町第5次総合計画後期基本計画案.P54 文化財・郷土資料の保存・活用】について

[施策の展開方向]には

- ②文化財友の会を中心とした町民との連携により、文化財や郷土資料の収集・保存・活用を図ります。
 - ④大学との連携により新たな文化財の発掘を進め、町民への周知を行い、地域文化の継承を図ります。
- と記述されております。
以下に私の私案を提示させていただきます。

- 青山の農家は養蚕と稲作で生計を立てていました。
- 部落内の古い家屋の屋根に当時の面影を見ることができます。



- これらの、周辺集落の成り立ち・歴史等も、まちの魅力であると考えます。
- 蚕をたくさん飼うために大きな屋根裏部屋が必要となり写真のような大きな屋根を有する形になったと聞いております。
- 昭和初期に立てられ、現存するこれらの建物は地域の財産でもあると考えます。
- これらの建物もいつか建て替えられ、姿を消す運命にあります。
- 青山地域に防災拠点が作られることにより、農地を売却したかたの中には、これを機会に住宅を建て替えて用途考えるかたもおられると考えます。
- 私は、地域の財産ともいえる古い家屋このまま姿を消していくことを、「残念なこと」と思っております。
- もちろん、住むかたに古民家保存の重荷を背負わせるわけにも行かないと考えます。
- 私は、『地域の財産ともいえる古い家屋（古民家）を保存する方法はないものか』と考えました。
- 私は、一定の条件を満たす古民家を建て替えるときに、住民のかたにその古民家を寄付して頂き、まちの費用で移築展示する事は出来ないものかと考えております。
- 『寄付頂いた古民家を利用した郷土資料館。』『臨空第2公園に計画されている賑わい施設の建物としてリノベーションする。』利用方法は沢山考えられます。
- 検討頂ければ幸いです。

古民家の活用については、いただいた意見を参考に事業を実施してまいります。